

## 下野市図書館協議会 議事録

審議会等名 令和6年度 下野市第2回図書館協議会  
日 時 令和6年7月17日(水) 9時30分から10時50分まで  
会 場 下野市役所 3階 303会議室  
出席者 鈴木(一)委員長、鈴木(秀)副委員長、石井委員、下山委員、松本委員、  
高木委員、白石委員、齋藤委員、大橋委員  
欠席者 大垣委員  
市側出席者 (事務局) 野口課長、猪瀬課長補佐、伊澤館長補佐  
(指定管理) 和田総括管理運営責任者兼石橋図書館管理運営責任者、  
中山国分寺図書館管理運営責任者、佐藤南河内図書館管理運営責任者

公開・非公開の別 ( 公開 ) ・ 一部公開 ・ 非公開 )

傍聴者 0人

報道機関 0人

議事録(概要)作成年月日 令和6年8月7日

### 議 題

- (1) 令和5年度図書館評価報告(案)・公表について
- (2) 令和6年度図書館評価について(評価シート)

#### 【協議事項等】

1 開 会<猪瀬補佐>

2 あいさつ

<鈴木委員長> おはようございます。お集まりいただきありがとうございます。間もなく夏休みになり、図書館やボランティアは夏ならではの対応がある。子どもたちのサポートをよろしくお願ひしたい。また図書館はクールシェアリングの役目を果たすことになっているので、市民サービスをお願ひする。今日は忌憚のない意見で協議していただきたい。

3 議 題

- (1) 令和5年度図書館評価報告(案)・公表について

#### 【質疑等】

鈴木委員長 事務局説明お願ひする。

事務局 (案) 令和5年度 下野市図書館評価報告書により説明。

鈴木委員長 図書館評価について質問があれば挙手願ひう。

松本委員 非常に良くまとめてある。委員による意見は関連する内容をまとめて表記した方が読みやすいと思う。

事務局 これまでは、総評の意見を上げた後に取組結果に対するコメントを項目順に掲載してきた。しかし、関連意見をまとめた方が読みやすいのであれば令和5年度からそのようにする。

松本委員 お願ひする。もう1点は電子図書について。協議会ではこれまで情報共有や意

見交換等をしてきた。基本計画では令和7年度までに導入について検討するとなっており、今年度の重要な検討項目のひとつである。令和5年度の評価報告書にも記載した方がよいのではないかと。

- 事務局 電子図書については、栃木県が今年3月に読書バリアフリー法に基づき導入する計画を立てた。本市もそれらを参考にしながら導入検討を進め、次期計画策定にあたりたいと考えている。令和5年度評価報告書では総評に一文を加える。
- 松本委員 お願いします。電子図書はソフト購入等費用もかかる。導入に当たって他市町と広域連携することも検討してはどうか。
- 事務局 電子図書にも著作権があり広域連携は困難ではないかと思う。確認する。
- 松本委員 お願いします。
- 鈴木委員長 コメントの掲載順は修正をお願いします。電子図書については基本計画の検討事項となっているので、今度も情報提供をお願いしたい。他になければ(案)をとっていただき、次に移る。
- 事務局 この図書館評価報告書は、次回の教育委員会ならびに市議会議員全員協議会で報告させていただく。

## (2) 令和6年度図書館評価について(評価シート)

### 【質疑等】

- 鈴木委員長 事務局ならびに各館から説明をお願いします。
- 事務局 令和6年度報告(基幹的業務・3館合同の取組)により説明。
- 石橋図書館 令和6年度事業評価シートにより説明。
- 国分寺図書館 令和6年度事業評価シートにより説明。
- 南河内図書館 令和6年度事業評価シートにより説明。
- 鈴木委員長 事務局、各館に不明な点や質問等があれば挙手願う。
- 松本委員 令和5年度のホームページのアクセス数が極端に多い理由を聞きたい。
- 事務局 アクセス数には当市図書館ホームページに直接アクセスした数以外に、県立図書館の「県内図書館横断検索」を使って所蔵の有無を検索した数も含まれる。横断検索は県内全館の一斉検索ができ、また、一般利用者だけでなく図書館員も利用するため件数が膨大になる。昨年度県立図書館のシステム変更があり、これらを分けて集計することができなくなったことが要因である。
- 松本委員 事情は理解した。令和元年度の数をベースに設置した7年度までの目標値の意味がなくなってしまったということか。
- 事務局 そういうことになる。しかし計画策定時の目標値を途中で変えることはできない。次期計画策定時にこの件を考慮する必要はある。
- 松本委員 ベースの違うものをあと2年間比較することになる。注意書きを入れて周知する必要があるのでないか。
- 事務局 検討する。
- 鈴木委員長 お願いします。他にあるか。
- 高木委員 各館のレファレンス資料について伺いたい。グリムや医学書、児童書等、各館特色付けされているが、レファレンス(参考)資料にも反映されているのか。また、本によって更新の度合いが違うと思うが、どのように調整しているのか実情を教えて欲しい。

石橋図書館 参考資料でも各館の特色に値する資料は積極的に収集し、充実させるよう努力している。更新の度合いについては、レファレンス資料は高額なので予算に基づいて計画的に古いものから順に更新している。新しく入った本は一定期間は新着コーナーに配架し周知している。

高木委員 市内他館に最新版があるか検索すれば分かるのか。

石橋図書館 分かる。ホームページでも新着資料として周知している。

高木委員 了解した。

鈴木委員長 引き続き周知をお願いします。他に質問等はあるか。

石井委員 石橋地区で小学校に出向いて読み聞かせをしているが、時間が20分から15分になり、コロナ禍以降は10分になってしまった。話を端折ることはできないし、ある程度内容のあるものを読むには10分では足りない。回数も1学年あたり年間8～9回から4～5回に減り、読む冊数もかなり減った。以前のように読み聞かせ後の図書の貸出に結びつかない気がして残念である。せめて時館を15分にするにはできないものか。

事務局 石橋地区以外の現状をお聞きしたい。

下山委員 国分寺東小学校で活動をしている。やはり15分から10分になったが、5分くらいの超過は許容していただいている。

高木委員 国分寺地区は学校付きのボランティアのような形で20年以上活動しているので、学校と直に話し合いをして柔軟な対応ができているのだと思う。

松本委員 石井委員の意見には共感する。南河内地区では小学校5校中4校で読み聞かせをしていたが、昨年度3校が統合され時間も15分から10分になった。特に高学年向けでは読みたい本が読めないことが非常に悩ましい。学校の都合もありやむを得ないと思い、時間に収まる絵本を選ぶよう努めていきたいと思う。

鈴木委員長 学校も時間がタイトになっているようだ。石橋北小学校長の齋藤委員いかがか。

齋藤委員 ボランティアの生の声は非常に参考になった。本校では多少の時間の長短は受け入れている。「子どもたちに聞かせたい・伝えたい」という思いをぜひ学校に直接相談していただきたい。少し早めに着席させる等の対応もできると思う。

鈴木委員長 学校図書関係者との研修会等の時にもボランティアの声を届けて欲しい。

事務局 10月の研修会は支援員のみなので、担当教諭が集まる機会に伝える。

鈴木委員長 お願いします。他に質問はあるか。なければ以上で議題はすべて終了とする。

4 その他

猪瀬補佐 その他として事務局から説明する。

事務局 次回協議会は10月30日(水)9時30分から、会場は2階の203会議室。

猪瀬補佐 他、図書館または各委員から何かあるか。

松本委員 3月に出された下野市社会教育委員会議の提言の中に、「図書館においてビブリオバトルの活用を検討することを求める」とある。具体的に動いているのか。

事務局 ビブリオバトルを実施している学校からの依頼で市職員(司書)がやり方を指導している。また南河内図書館には月1回活動する自主グループがあり、今後、同館の図書館まつりで大会の開催を考えている。このことは社会教育委員会議でも回答した。

松本委員 現状は理解した。社会教育委員会議の提言なので結果を求められるのではない

か。本協議会で情報共有をし、さらに提案があれば話し合うことも必要と考える。次回、各館の取組等を整理して報告していただきたい。

事務局 現状について報告することにする。

## 5 閉 会

猪瀬補佐 以上で第2回図書館協議会を終了とする。